

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況

No.11 令和元年7月～令和元年8月

胆江地区衛生センター

■ 完成した設備機器の試運転試験を行いました。

【蒸気タービン発電機の負荷運転試験】

7月1日（月）～5日（金）にかけて、新設した蒸気タービン発電機の試運転試験を行いました。試験では実際に発電した電気で施設を動かしながら、発電機の運転状況等が問題なく行われるかを確認しました。



試験時には発電機の起動・停止方法について施工業者から説明を受け、職員らが手順を確認しました。
(写真左：起動前に計器の数値を点検する様子 写真右：タービンを回す蒸気バルブを開ける様子)



負荷遮断試験の様子

負荷遮断試験とは…

発電機は施設で使用する電気の量に合わせて運転を行いますが、停電などが発生すると使用していた電気が無くなり、発電機にかかっていた負荷が急激に軽くなってしまいます。

そのような場合を想定し、負荷運転状態から無負荷運転に安全に移行できるかを試験で確認しました。

【停復電試験・非常用発電機による立上げ試験】

7月7日（日）、21日（日）には、自家発電状態から強制的に停電を起こし、非常用発電機が正常に起動するかを確認する試験を行いました。起動を確認した後は、引き続き非常用発電機を使って焼却炉を立ち上げる試験を行い、非常時でも問題なく施設を運転できることを確認しました。

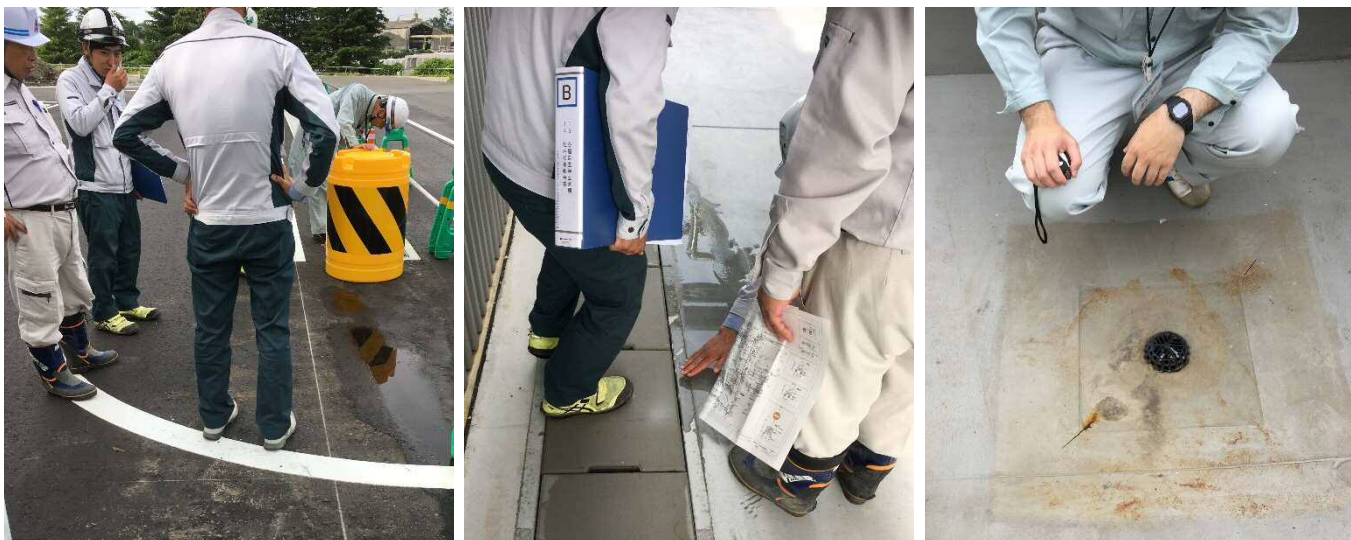
（写真：電気供給を遮断した直後、復旧プロセスが正常に行われるかを確認する様子）



■ 工事が完了した設備の引渡しに向け、各種検査を行いました。

【建築申請完了検査】

7月19日（金）に、余熱利用設備棟の建築申請完了検査（建築法に基づき、工事がきちんと図面通り行われたかを確認する検査）を実施しました。



完了検査の同日には、道路舗装などの建物周辺をふくめた引渡し部分について、不備等がないか確認を行い、書類・現場の両面から完成状況を確認しました。

【引渡性能試験】

8月1日（木）～3日（土）にかけて、引渡性能試験を実施しました。

引渡性能試験とは、完成部分の引渡しを行う前に焼却炉の性能・機能を確認するための試験です。完成した2号焼却炉のごみ処理能力や排ガスの成分などを測定し、基準値をクリアしているかを確認します。

現在は試験の結果を待ち、完成部分の引渡し準備を行なっております。